

PRESS INFORMATION

ニュースリリース PGJPR21-013

メディア関係者 各位

2021年4月12日

ピアaggioグループジャパン株式会社

クラシクトラベルエンデューロをアップデート

“モト・グッツィ V85TT / V85TT 100 周年記念スペシャルエディション”

“モト・グッツィ V85TT トラベル”を発売

ピアaggioグループジャパン株式会社(本社:東京都港区芝二丁目、代表取締役:ネリ・ミクラウス)は、アドベンチャーバイクの黄金時代を彷彿とさせるスタイルと、現代のツーリングバイクのコンテンツと機能性を融合させたユニークなクラシクトラベルエンデューロ『V85TT』及び『V85TT 100 周年記念スペシャルエディション』と、ツアーとしての装備を充実させた『V85TT トラベル』をアップデートし、2021年4月13日より全国のモト・グッツィ正規販売店にて受注を開始し、6月より順次出荷を開始いたします。

新しいV85TTシリーズは、5種類になったライディングモード、チューブレス化した新型ホイール、低・中回転域でのトルクを向上させたエンジンを搭載し、ツーリングをこよなく愛するライダーの冒険心に応えます。さらにモト・グッツィ創業100周年を記念した特別仕様もラインアップします。



PRESS INFORMATION

■ V7 STONE 商品概要

メーカー希望小売価格 :	V85TT	1,496,000 円(消費税 10%込)
	V85TT 100 周年記念車	1,518,000 円(消費税 10%込)
カラー :	モハベイエロー チェンテナリオ (100 周年記念車専用グラフィック)	
受注開始日 :	2021 年 4 月 13 日(火)	
出荷開始時期 :	2021 年 6 月下旬より順次	



PRESS INFORMATION

生きがいを求めて旅をする。日々の冒険に応える V85 TT

2021 年は、生誕 100 周年を迎えるモト・グッツィにとって、非常に重要な歴史的な年となります。1 世紀に渡る伝統、情熱、そしてビジネスやスポーツ界における大きな成功。100 年もの間マンデッロ・デル・ラーリオで製造され続けてきた偉大なモーターサイクルは、最高の技術と最も価値あるイタリアのものづくりを統合し、1921 年以来モト・グッツィの真価を発揮し続けています。

このような伝統を踏まえて、V85 TT は、モト・グッツィの伝統であるアドベンチャーツーリングを最も純粹で独創的な形で提供するために誕生しました。つまり、パリ・ダカールのような砂漠でのラリーを思い描いています。

1980 年代に入ると、この有名なアフリカでのラリーは最盛期を迎えました。感動の中心となったのは、自然や自分自身との永遠の闘いの中で、バイクと完全に調和しながら、たった一人で未踏の地に挑む旅を続ける人々でした。

トラベルモデルにおいて、V85 TT は、アドベンチャーバイクの黄金時代を彷彿とさせるスタイルと、現代のツーリングエンデューロのコンテンツと機能性を融合させたユニークな提案です。V85 TT は、ダカールに想いを馳せ、日常の旅にも冒険心をくすぐるようなバイクを求めるライダーに捧げる 1 台です。

モト・グッツィは V85 TT の発売以来、評論家や一般ユーザーから高い評価を受けてきましたが、ファンからの更なる要望に応えるため、ベストセラーモデルのアップデートバージョンを発表します。今回の改良では、まずユーロ 5 規格に適合した縦置き V ツインエンジンを搭載し、プッシュロッドとロッカーのタイミングカムの改良、そしてそれに伴うエンジン制御エレクトロニクスの適合により、**低・中回転域でのトルクが向上**しています。また、**新しいスポークホイール**には、より信頼性が高く、オンロードでの使用に適した**チューブレスタイヤ**を装着し、またライディングアシストエレクトロニクスでは、従来の 3 種類のライディングモード(ロード、レイン、オフロード)に加え、**新たに 2 種類のライディングモード(スポーツ、カスタム)**が追加されました。



PRESS INFORMATION

■ V85TT Travel 商品概要

メーカー希望小売価格	:	1,672,000 円(消費税 10%込)
カラー	:	サッビアナミブ
受注開始日	:	2021 年 4 月 13 日(火)
出荷開始時期	:	2021 年 6 月中旬より順次



V85 TTトラベルは、V85 TT のあらゆる技術的なアップグレードに加えて、冒険心を掻き立てる旅を実現する充実した装備パッケージを備えているのが特徴です。このモデルは、専用カラーとグラフィック、そして非常に充実した標準装備が特徴で、特にツーリングに最適です。装備としては、表面積の増加(スタンダードモデルの 60% 増)により保護性能が向上したツーリングウィンドシールドやアーバンシリーズの大容量サイドパニア(右側の 37 リットルのパニアにはフルフェイスのヘルメットが収納可能、左側は 27.5 リットル)が含まれます。パニアケースは横方向の張り出しを抑え(わずか 928mm)、同じキーでロックすることが可能です。



PRESS INFORMATION

また、1組の追加 LED ライトと調整可能なグリップヒーターも装備されていますが、モト・グッツィ V85 TT に標準装備されている左側のスイッチブロックに起動ボタンが備わっているため、追加の電子制御は必要ありません。また、モト・グッツィ MIA の特別装備も充実しており、スマートフォンを車両に接続し、インストルメントクラスターの機能を拡張することができるマルチメディアプラットフォームとなります。モト・グッツィ V85 TT トラベルには、**Sabbia Namib** (サッビア・ナミブ) の専用カラーを取り揃えており、グレーのフレームとマットなライトブラウンのシャシーが組み合わされ、タンクとサイドパネルには専用のグラフィックが施されています。ミシュラン製アナキアードベンチャータイヤは、アドベンチャーツーリングの大胆さを強調しています。



クラシックトラベル エンデューロ V85 TT

V85 TT プロジェクトの中心となる基本コンセプトは、シンプルさ、容易さ、そして実用性です。毎日の通勤からアドベンチャーツーリングまで、様々なシーンに対応できた 1980 年代のエンデューロバイクの典型的な価値観であると同時に、大きさや重さが重要視される認証化が進む市場では、徐々に失われつつある価値観でもあります。モト・グッツィ V85 TT は、この価値観に基づいたスタイルと現代のツーリングエンデューロのニーズを融合させるという野心的な目標を達成しています。ツーリングに特化した初のクラシックエンデューロの称号に相応しい理由がここにあります。そのデザインは、耐久性を確保するために、モト・グッツィならではの特性に最新技術と機能性を組み合わせています。フェアリングを持たない V85 TT は、燃料タンクやサイドパネル、フロントマッドガードのラインと伝統の縦置き 90° V ツインエンジンによって、シンプルなフォルムを追求しています。

全体的なバランスを優先してデザインされ、様々な体格や経験値のライダーが扱いやすく、動きやすいようにシート周りを絞り込んだ V85TT は、ライダーとパッセンジャーに最高の走りを提供します。タンデムでも荷物が満載でも、快適性と扱いやすさが損なわれることはありません。風洞実験にて形状を研究し尽くされたスモーク仕上

PRESS INFORMATION

げのウインドシールドが優れたウインドプロテクション性能を発揮し、ハンドルバーに装着されたグリップガードが悪天候や寒さから手を保護するなど、V85 TT は季節を問わず理想的なパートナーとなります。23 リットルのタンク（400km 以上の航続距離を実現）のデザインは、アフリカのラリーで活躍したモト・グッツィバイクの伝統を彷彿とさせるもので、フロントセクションのスロットやツインエンジンとの一体感を生み出すエンジンヘッド真上の凹みなど、細部に渡って入念に作り込まれています。

着座時の快適性とオフロード走行時のスタンディング姿勢での自由な動きを両立させるために、ライダーとシートとの接触面積について幅広い研究を行いました。シート高は 830mm で足つきが良く、静止したバイクを操作する際に最適なコントロールが可能です。また、ボディ下部をコンパクトにすることで、乾燥重量 209kg に抑えています。ライディングポジションは背中への負担が少ない直立姿勢、脚の曲がりは少なく、アルミ製ハンドルバーを無理なく握れるように腕の曲がりも最適で、総合的なコントロール性を重視しています。シート下には実用的な収納スペースが設けられています。ハイフロントマッドガードと美しいデュアルフロントヘッドライトは、モト・グッツィの歴史を受け継いでおり、それぞれ 1996 年の NTX 650 と 1989 年の Quota 1000 に採用されたスタイリッシュで機能的な装備です。フロントフォークガード、ハイサイレンサー付きエキゾーストシステム、アルミ製エンジンサンプガードを備えたクラシックなオフロードスタイルに、TFT インstrument パネルやモト・グッツィのイーグルの形を模した DRL 付き LED ヘッドライトといった最先端のテクノロジーを組み合わせています。



シャーシ構造: 最高の走る歓びと扱いやすさを追求

卓越したシャーシ構造を設計するモト・グッツィの技術力の高さが V85 TT によって再び証明されました。アンダークレードルを廃止した高張力鋼管製フレームの専用レイアウトやアルミダイキャストのライダーフットペグサポートプレート(オフロード走行時には取り外し可能なラバー付き)を採用し、徹底的に軽量化を図っています。軽さ、合理性、扱いやすさを追求する中で、オフロードに適した強さと最適なフィーリングに加え、オンロード走行に求められる精度と剛性も備えた、高剛性な構造の専用エンジンマウントを採用しています。フレームのリア部は、積載量を最適化する設計となっており、パッセンジャーにはワイドで実用的な 2 本のグラブハンドルが装備されています。さらにオプションのパニアケースを両サイドに装着しても、横方向の張り出しを大幅に抑えることができます。

スモールブロックエンジンの縦軸の長さを抑えた開発により、安全で直感的なライディングを実現するロングスイングアームの採用を可能にしました。アルミ製ボックスタイプの左右非対称スイングアームは、エキゾーストパイ

PRESS INFORMATION

プを直線的に取り回し、横方向の張り出しを抑えるために左アームを湾曲させています。一方、右アームにはトランスミッションが納められています。V85 TT は、汚れを抑え、メンテナンスフリーな点でチェーンドライブよりも優れているため、このセグメントで唯一シャフトドライブトランスミッションを採用しています。シングルショックアブソーバーは、傾斜したポジションにより優れた前進性を発揮します。また、横向きに設置していることで、油圧式およびスプリング式プリロードの調整が容易になり、エキゾーストシステムのレイアウトの自由度が向上し、パニアケースをバイクにしっかりと装着することができます。サスペンションはオフロード走行に応えるホイールトラベル(前後とも 170mm)を採用し、またアルミ製サンプガードで保護されたエンジンの地上高も 210mm を確保することで、オンロードでの快適性も実現しています。フロントフォーク(インナーチューブ径 41mm)とタンク別体式ショックは、ともにショックプリロードと油圧リバウンドの調整が可能です。高品質なブレーキシステムは、フロント 320mm スチール製ダブルディスクに、 Brembo 製対向 4 ピストン搭載 2 ラジアルマウントキャリパーを組み合わせ、金属製ホースでハンドルバーのマスターシリンダーと接続しています。リアには、2 ピストン 260mm スチール製フローティングキャリパーを採用しています。ブレーキユニットは、マルチマップのコンチネンタル製 ABS システムによって制御されています。このシステムはリアを無効化することができ、さらに過酷なオフロード走行にはフロントホイールに専用のキャリブレーションを行うことができます。新しいスポークホイールには、オフロード愛好家も満足させる 17 インチと 19 インチのチューブレスタイヤ(それぞれ 150/70-17 と 110/80-19)を装着しています。このタイヤとホイールは、従来のバージョンよりも約 1.5kg 軽量化されており、バネ下重量が軽減された結果、車両の優れたダイナミクスがさらに向上しています。



モト・グッツィの V ツインが実現する、さらに大きなトルクと弾性

初代 V85TT に搭載されていたエンジンに改良を加え、より優れた弾性と強大なトルクを実現しました。その構造は現在生産されている全てのモグッツィのバイクの中でも最上級のものであり、OHV 方式の空冷縦置き 90° V ツイン、1 シリンダー 2 バルブを採用。それはマンデッロイーグルの誇りと伝統と言えます。エンジン排気量は 853cc、ボアストローク比は 84 × 77mm。モト・グッツィのエンジンの特徴の一つはエンジン配分にあります。アルミ製のローラーカムとチタン製 42.5mm インテークバルブを備えたロッカーアームプッシュロッドを採用しています。バルブの昇降を最適化することにより、低・中回転域でのトルクが向上しました。この進化は 3,000rpm ですでに明

PRESS INFORMATION

らかですが、トルク曲線全体に反映され、5,000rpm で 82Nm のピークに達します。その結果、オンロードでの走る楽しみがさらに増し、スロットルを開いた時のレスポンスが速く、低回転域や高いギアで伸びのある加速が実現しました。最高出力は 7,500rpm で 76 馬力となり、8,000rpm という強大な最高回転数を誇るモト・グッツィのスマールブロックは、このバイクのモダンで豪快な個性を際立たせています。

このエンジンの基本的な特性はそのままに、素晴らしい功績を誇る現在のモト・グッツィの生産において、V7 に搭載した 750cc のスマールブロックと比べると一新されています。エンジンはフレームの要素としての機能を果たし、そのため二等分した 2 つのクランクケースのそれぞれの接続部には補強材を採用しています。また、下部のクランクケースには、オイルレベルをチェックするためのポートも備えています。潤滑にはセミドライサンプ方式を採用しています。オイル供給と回収を行う 2 つの同軸ポンプにより、高い潤滑性を確保するとともに、オイルクーラーの必要性を排除し、全重量の軽量化を実現しています。セミドライサンプ方式は、外部にオイルタンクを設ける必要がなく、ドライサンプエンジンのあらゆるメリットを備えています。主なメリットとしては、クランクドライブとオイルの相互作用による摩擦によるパワーロスが少ない、オイルの最高温度が下がる、潤滑トラブルを回避しながらより大きなリーン角やピッチ角に到達するためバイクの自由度が高くなる、それによってポンプがどのような状況でも正しい吸引を確保するために必要な潤滑油の量を減らすことができることが挙げられます。また、オイルパンを小さくすることで、地上高が高くなり、保護用のアルミ製アンダーサンプの取り付けを実現しています。

クランクシャフトとロッドを一体型にすることで、従来のスマールブロックエンジンに比べて約 30% の軽量化を実現し、スロットルをひねった時のレスポンスを向上すると同時に、振動を大幅に低減しました。シリンダーは高さを抑え、効率的なオイル通路と補強したクランクケースの固定システムが堅牢性と信頼性を確保しています。直径 20 mm のピンを備えた軽量ピストンを採用し、ジェネレーターも強化しています。インジェクションには 52mm のシングルスロットルボディを採用し、マルチマップ ライド・バイ・ワイヤ スロットルコントロールによりスロットルバルブの開きを正確に制御することができ、スムーズで滑らかなデリバリーを実現するために全体的な効率を最適化すると共に、燃費の低減も実現しています。実際、V85 TT に搭載されているモト・グッツィのエンジンは、消費という意味において非常にシンプルです。パワーを吸収する部品が少なく(OHV の配分がパワー吸収の面では最も質素なものひとつ)、冷却回路ポンプや長いドライブチェーンやベルトもありません。

ギアボックスとクラッチハウジングについては、乾式クラッチのクラッチプレートの下に補強ディスクと高性能クラッチディスクを採用しています。また、特に 1 速でのギアのノイズやギアボックスの遊びを最小限に抑えるためにシンクロ方式を採用しています。カルダンシャフト・ファイナルドライブギアボックスには、よりスムーズに動作させるためのクッシュドライブが装備されています。最後に、スイングアームの端部には、高負荷に耐えうるベアリングを採用しています。



PRESS INFORMATION

2 種類の新しいライディングモードと最高峰のテクノロジー

V85 TT プロジェクトの主な目標を達成するために、あるいは日常のライディングだけでなく、ツーリングや冒険心を掻き立てるオフロードライディングでもグッツィ愛好家を満足させるため、モト・グッツィは、使い勝手の悪い技術的なストレスを排除して、旅の楽しみを最大限に引き出せるよう、スタンダードな電子機器をフル装備しました。より簡単で安全な走りを実現するために、モト・グッツィは新型 V85 TT に Road、Rain、Off-road、そして新たに Sport と Custom を加え、**5 種類のライディングモード**を導入しています。ライディングモードは、異なるエンジンマッピング、MGCTトラクションコントロール(無効化も可能)と ABS のキャリブレーション、ライド・バイ・ワイヤ スロットルコントロールからのレスポンスにそれぞれ対応しています。



- **Road:** 楽しさの中にもスムーズな走りを実現する設定。中レベルの MGCTトラクションコントロールのキャリブレーション、両ホイールでの ABS 作動、俊敏なスロットルレスポンスが特徴
- **Rain:** グリップの低い状況で、最大限の安全走行を確保するのに理想的。より高レベルのトラクションコントロールのキャリブレーション、両ホイールでの ABS 作動、より穏やかなスロットルレスポンスが特徴
- **Off-road:** オフロード走行時にシャーシ構造とエンジンを最大限に活用できるように設計。トラクションコントロールの介入度は最低レベル、ABS は専用のキャリブレーションによりフロントホイールでのみ作動(フロントホイールの作動を無効にする場合もあり)、強いエンジンブレーキによる穏やかなスロットルレスポンスが特徴
- **Sport:** オンロードでのスポーツ走行に特化。中レベルのトラクションコントロールのキャリブレーション、両ホイールでの ABS 作動、よりアグレッシブなスロットルレスポンスが特徴
- **Custom:** ユーザーが電子制御レベルを自由に組み合わせることが可能。リアホイールの ABS を無効にすることができます。モト・グッツィが各ライディングモードに最適な電子制御設定を開発し、ライダーは好みのモードを選択するだけで安全性を確保できます。

PRESS INFORMATION

また、V85 TT には**クルーズコントロール機能**が装備されており、アクセルを踏むことなく、予め設定した速度を維持することができます。このシステムはツーリングをより快適にするために設計されており、1つのボタンを押すだけでシステムが作動し、設定した速度の増減が可能です。

すべてのトラベルパラメーターは、TFT ディスプレイを備えたデジタルインストルメントクラスターで操作することができます。背景や文字の色は、内蔵センサーによって光の状態に応じて変化します。スピードメーター、タコメーター、走行距離計、時計に加え、選択しているギア、気温、燃料レベル、平均／瞬間燃費、燃料残量、選択しているライディングモードが表示されます。また、ギアシフトライトセンサーの最大回転数を設定することも可能で、ならし運転や極力燃費を抑えたいときに便利です。ディスプレイの横とシート下に USB ポートが装備されています。フル LED ヘッドライトユニットは、ロービームとハイビーム機能に加えて、デイトタイムランニングライト (DRL) を内蔵しており、モト・グッツィのイーグルロゴの形状に合わせて投影をします。テールライトは、LED 技術を用いて、ジェット機の離陸時のアフターバーナーを彷彿とさせる 3D の特徴を表現しています。また、LED ターンインジケーターには自動キャンセル機能が搭載されています。専用カタログに掲載されている豊富なアクセサリの中からオプションで入手可能なモト・グッツィのマルチメディアプラットフォーム、**モト・グッツィ MIA** を利用すると、スマートフォンを車両に接続して、インストルメントパネルの機能を拡張することができます。モト・グッツィ MIA では、音楽の再生やヘルメットのインカムを使用して電話の発信／着信が可能になります。また、ナビゲーション機能も搭載しており、スマートフォンで目的地を設定すると、インストルメントクラスター上に直感的なピクトグラムで道順を表示することができます。

バージョンとカラーバリエーション

モト・グッツィ V85 TT には、**2 種類の新しいグラフィックバージョン**を取り揃えています。洗練されたチェンテナリオは、モト・グッツィの創業 100 周年を記念して、それぞれの代表的なモデル (V7 ストーン、V9 ボバー、V85 TT) にモト・グッツィが厳選したカラーを採用しています。カラーは象徴的で唯一無二のオットー・チリンドリへのオマージュであり、マットグリーンのフロントマッドガードとサイドパネル、マットグレーの燃料タンク、ブラウンのシートが特徴的です。この新しいグラフィックは、マンデッロ生まれのゴールドカラーのイーグルと、フロントマッドガードの 100 周年記念ステッカーを纏っています。伝統的なグラフィックに加えて、レッドのフレームとそれにマッチしたフォークガードを備えたモハバイエローは、V85 TT が初登場して以来、80 年代のモト・グッツィのオフロードの伝統を象徴する鮮やかなカラーを再解釈したものです。燃料タンクの後部とサイドパネルの前部にはイエローを、燃料タンクの前部とフロントマッドガードにはホワイトを組み合わせています。



PRESS INFORMATION

モト・グッツィのオフロードにおける伝統

モト・グッツィは、オフロードで確固たる伝統を誇ります。その証拠に、1939年にオーストリアで開催された Six Days Reliability Trial にて、モト・グッツィは GT 20 で参戦し、4つの金メダルを獲得しました。このレースへの参加は、Lodola Regolarità を擁して 1957 年まで続き、その後 1962 年の Stornello Regolarità まで続きました。モト・グッツィのバイクは、パリ・ダカールの様々なステージに参加していますが、グッツィユーザーのリクエストによって用意されたレースバージョンのため、非公式となっています。1979 年に開催された第 1 回大会では、V50 を改造しただけのモデルであったため、ライダーのベルナルド・リゴニはレースを中盤で終えました。これは、車とバイクが同じカテゴリーにあった当時の状況を考慮すると、非常に良い結果でした。モト・グッツィのモーターサイクルは、90° 縦置き V ツインによる優れたスピード性能に加えて、燃費の良さとシャーシ構造の安定性が評価され、すぐさま他メーカーからの注目を集めました。1980 年と 1981 年にも再びレースに参戦しましたが、最も有名なのは 1985 年と 1986 年のものでした。これは、グッツィスタの建築家であるクラウディオ・トッリの熱い情熱と献身によって、マンデッロのテスト部門に特殊な V65 TT の製作を依頼したことが始まりでした。エンジンは V65 をベースにして 55 馬力にチューンされ、フレームを大幅に強化し、サスペンションをオフロード走行用に特別設定しました。オリジナルの燃料タンクを 50 リットルのアルミタンクに交換し、スイングアームはスポーティなル・マン 1000 から移植しました。バイクは上手く機能を発揮し、その結果、次のシーズンに向けて個人ライダーに販売するためにフランスの輸入業者から 16 台の注文が入りました。それと同時に、輸入業者はモト・グッツィに、より高性能な 4 バルブを装備した V75 をベースにしたニューモデルの開発を要請しました。V75 TT は 62 馬力を発揮し、170km/h を超える最高速度を実現しました。この 2 台は、マンデッロ・デル・ラーリオのモト・グッツィ・ミュージアムに展示されている 150 台以上のコレクションの一部となっています。

モト・グッツィが設計、開発した多彩なアクセサリパーツ

V85 TT は、それぞれのスピリッツを強調するために考案された、豊富な純正アクセサリパーツが装着できるように設計されています。すべてのアクセサリはモト・グッツィによって企画、設計、製造されています。耐久性に優れた高品質な製品であることを保証するために、バイクの他の純正パーツと同様に、認証を取得し、厳しいコントロールテストに合格しています。

- **サイドパニアセット**: 1.5mm 厚のアルミニウム製で、優れた耐久性と広い収納スペースを備えています(左パニア:33 リットル、右パニア:39 リットル)。最大限の保護性と耐久性を長期間維持するために、パニアには粉体塗装が施されています。専用のセーフティキーを使用してバイクにロックでき、わずか数秒で簡単に取り外すことができます。内部用バッグも取り揃えています。
- **41 リットルアルミケース**: 1.5mm 厚のアルミニウム製で、優れた耐久性と広い収納スペースを備えています。最大限の保護性と耐久性を長期間維持するために、パニアには粉体塗装が施されています。専用のセーフティキーを使用してバイクにロックでき、わずか数秒で簡単に取り外すことができます。内部用バッグも取り揃えています。
- **センタースタンド**: さまざまな気象条件に耐えうるよう電着粉体塗装を施したスチール製で、厳しい安全基準と耐性基準を満たすように設計されています。
- **ツーリングウインドスクリーン(V85 TT トラベルには標準装備)**: 従来よりも表面積が 60%増加したことで、ロングツーリングで優れた防風機能を提供します。耐衝撃性に優れたポリカーボネート製で、透明度と光沢を長期間維持します。

PRESS INFORMATION

- **補助 LED ライト**(V85 TTトラベルには標準装備): アルミニウム製ボディとコンパクトサイズで、消費電力を抑えています。バイクと完全に一体化し、夜間走行時の視認性と安全性を向上させます。
- **チューブラーエンジンガードバー**: 肉厚のスチールチューブ製で、主にエンジンとライダーの脚を保護します。
- **モト・グッツィ MIA**(V85 TTトラベルには標準装備): スマートフォンをバイクに接続し、バイクをリアルなマルチメディアプラットフォームとして使用する新しいデバイスです。
- **モト・グッツィ エキゾースト**: ヒートプロテクションカバー、サポートクランプ、カーボン製エンドキャップを備えたチタン製の認証済エキゾースト。50%の軽量化を実現し、個性的でアグレッシブなサウンドを奏でます。
- **チューブラーエンジンガードバー**: 肉厚のスチールチューブ製で、主にエンジンとライダーの脚を保護します。
- **折り畳み式ミラー**: ハンドルバー側に折りたたむことができ、オフロード走行時の張り出しを減らします。
- **オーリンズ製ショックアブソーバー**: コンプレッション、リバウンドやスプリングプリロードの調整が可能で、あらゆる状況下で最高の快適性と安全性を提供します。
- **グリップヒーター**(V85 TTトラベルには標準装備): V85 TT はすでにグリップヒーターに対応しています。ボタンの追加取り付けは不要。左手のスイッチブロックの一部で制御が可能です。
- **シャフトドライブプロテクション**: 肉厚のスチールチューブ製で、万一のクラッシュ時にシャフトドライブを保護します。
- **コンフォートシート**: 特殊な 3D インサートにより快適性を高めたシート。3 種類の高さから選択できます(スタンダード、レイズド、ローダウン)。
- **クラッチ&ブレーキレバー**: 無垢材からの削り出しで、エルゴノミクスの改善により 4 段階調整が可能。
- **燃料タンクカバー**: 3D の粘着素材で、タンク表面を保護し、ライダーの滑りを抑制します。
- **ハイグリップブレーキペダル**: レーザーカットと粉体塗装を施した耐久性の高い素材を使用。過酷な状況でも完璧なグリップ力を発揮します。
- **シート下 USB ポートキット**: モト・グッツィ MIA マルチメディアプラットフォームを使用する場合に最適です。外部デバイスやスマートフォンの充電が可能です。

モト・グッツィ アドベンチャーアパレルライン

モト・グッツィは、ツーリングライダーのための高品質なアパレルラインを提案します。コレクションは以下の通りです:

- **3 層構造のテクニカルパンツ&ジャケット**: サーマルインナー、100%防水インナー、通気性インナー(別々に取外し可能)を備えた EN17092 認証のジャケット。フロントとリアのベンチレーションはジッパーで簡単に開けることができ、全天候に対応しています。スリムなラインはエレガントでテクニカルな印象を与え、幅広い調整機能によっていつでも快適で抜群のフィット感を実現します。セットのパンツは別売となります。
- **グローブ**: 3 種類のグローブ(夏用、冬用ロング、冬用 3/4 レザー)を取り揃えています。気象条件からしっかりと保護し、完璧なフィット感を実現します。

PRESS INFORMATION

■モト・グッツィ V85TT/V85TT Travel 主要諸元

エンジン形式	空冷 4 ストローク 縦置き 90° V 型 2 気筒 2 バルブ OHV
総排気量	853 cc
ボア×ストローク	84 x 77 mm
圧縮比	10.5: 1
最高出力	76 HP (56 kW) / 7,500 rpm
最大トルク	82 Nm / 5,000 rpm
燃料供給システム	電子制御インジェクション、ライド・バイ・ワイヤ
燃料タンク容量	21 リッター (リザーブ 5 リッターを含む)
クラッチ	乾式単板
トランスミッション	6 速 リターン
フレーム	高張力鋼管製フレーム
フロントサスペンション	41 mm 油圧テレスコピック倒立フォーク、スプリングプリロードおよびリバウンドダンピング調整
リアサスペンション	アルミ製スイングアーム、右サイドシングルショック、スプリングプリロードおよびリバウンドダンピング調整
フロントブレーキ	φ 320 mm ステンレススチール製フローティングダブルディスク、Brembo 製対向 4 ピストンラジアルマウントキャリパー
リアブレーキ	φ 260 mm ステンレススチール製ディスク、2 ピストンフローティングキャリパー
フロントタイヤ	クロススポーク チューブレスホイール 110/80 -19
リアタイヤ	クロススポーク チューブレスホイール 150/70 -17
全長/全幅	2,240 mm/950mm
全高	V85TT: 1,300mm-1,352mm (調整式ウィンドスクリーン) V85TT Travel: 1,420mm-1,445mm (調整式ウィンドスクリーン)
シート高	830 mm
ホイールベース	1,530 mm
最低地上高	210 mm
乾燥重量	V85TT: 209 kg V85TT Travel: 211 kg (パニアケースを含まない)
車両重量	V85TT: 230 kg (燃料 90%搭載時) V85TT Travel: 243 kg (燃料 90%搭載時・パニアケースを含む)

PRESS INFORMATION

◇モト・グッツィジャパンオフィシャルサイト:

<https://motoguzzi-japan.com/>

◇新型 V85TT シリーズ オフィシャルサイト:

<https://motoguzzi-japan.com/v85tt/>

◇お客様お問い合わせ先:

ピアaggioコール 03-3453-3903

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアaggioグループジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR/マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868